

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	【緊援隊】高速道路走行中、走行障害情報の全隊への伝達・周知ミスについて
3. 体験した事例の中心的要素	先頭車両が知り得た高速道路上の危険情報(ガケ崩れによる1車線封鎖)を後続の車両に無線で伝達したが、全隊に周知徹底を図ることができず、当該無線を受信できなかった後続車両のうち数台が間一髪で衝突を回避した。
4. 体験した事例の原因・理由	①無線の送信能力を過信した。 ②たとえ無線が全隊に届かなくても、危険情報の無線を受信できた車両がまた後ろの車両へ伝達してくれるものと思い込んだ。 ③全隊に対し受信確認を行うべきであったのにそれを怠った。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。(指示や助言が聞こえなかった。近くの隊員に気付かなかった等)
------------------	--

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成30年7月7日 午前7時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外: 高速道路上
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	風水害等の災害出動途上
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他: 出動途上(高速道路走行中)
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[47]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[17]年、階級[消防司令] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[43]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	後続車両各隊員

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	AとBが	それぞれ車長・機関員として出勤	
経過2	Bが	高速道路を走行中危険箇所(ガケ崩れによる1車線封鎖)を発見	
経過3	AとBが	注意しながら危険箇所を回避	
経過4	Aが	無線で後続車両に対し危険情報を発信	
経過5	後続車両各隊員	無線を受信できた隊はスピードを減速し危険箇所を確認しながら無事に回避した	
経過6	後続車両各隊員	無線を受信できなかった隊はスピードを落とすことなく間一髪で危険箇所を回避した	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた 避難退避がうまくいった たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

①資器材の能力に対する過信 ②してくれるだろうという他への過大な期待と思い込み ③効果確認の不履行

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について